

北九州の港と空港の情報誌

北九港&空 NEWS

2018
SUMMER
Vol.13

テーマ
北九州港の今
門司港80周年を経て
ニュース
働き方改革
国際貨物定期便就航
統計
北九州港の取扱貨物量
北九州空港の取扱貨物量

西海岸地区に寄港した「にっぽん丸」 平成30年6月11日撮影

国土交通省九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所

北九州港の今

北九州港は、古くから朝鮮や中国との交易における我が国の西の門戸として、また、近代は日本の工業化を支える港としての役割を果たしてきた、歴史ある国際貿易港です。1963年に門司市、小倉市、若松市、八幡市、戸畑市の5市が合併して北九州市が誕生しました。これを契機に、1964年に外国貿易の「門司港」、国内流通の「小倉港」、及び工業港の「洞海港」を総称して「北九州港」となっています。また、1889年の門司港の開港から来年で130年を迎えます。

北部九州に自動車等の製造業が集積・発展する中、東アジアに近く、歴史的にも結びつきが強い当地域は、今後とも東アジアとの国際物流が活発化することが見込まれます。その窓口となる北九州港や北九州空港は、ますます重要な役割を占めると考えられます。

次号より北九州港の各地区における状況等について紹介を予定しています。

北九州港の歴史

年	できごと
明治22(1889)年	門司港、特別輸出港に指定(開港)
明治37(1904)年	若松港(後の洞海港)、特別輸出港に指定(開港)
昭和26(1951)年	下関港と併せて関門港として特別重要港湾に指定
昭和39(1964)年	北九州港(門司港・小倉港・洞海港)誕生
昭和46(1971)年	西日本初「田野浦コンテナターミナル」供用開始
昭和55(1980)年	「太刀浦コンテナターミナル」全面供用開始
平成 7(1995)年	「門司港レトロ」オープン
平成14(2002)年	リサイクルポートに指定
平成17(2005)年	「ひびきコンテナターミナル」供用開始
平成18(2006)年	北九州空港開港
平成23(2011)年	関門港として国際拠点港湾に指定
平成24(2012)年	「新若戸道路(若戸トンネル)」開通
平成29(2017)年	北九州空港「貨物専用エプロン」供用開始

近年の港の整備



円滑なアクセス確保のための新若戸道路(若戸トンネル)整備



響灘地区における臨海工業団地の開発とコンテナターミナル整備



新門司地区における自動車産業を支えるRORO基地の整備等

事務所 沿革

昭和13(1938)年4月	内務省下関土木出張所門司港修築事務所
昭和19(1944)年3月	運輸通信省第四港湾建設部門門司港工事事務所
昭和20(1945)年5月	運輸省第四港湾建設部門門司港工事事務所
昭和27(1952)年8月	運輸省第四港湾建設局門司港工事事務所
昭和62(1987)年7月	運輸省第四港湾建設局北九州港工事事務所
平成9(1997)年4月	運輸省第四港湾建設局北九州港湾空港工事事務所
平成13(2001)年4月	国土交通省九州地方整備局北九州港湾空港工事事務所
平成15(2003)年4月	国土交通省九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所

4月より所長を拝命している根木貴史です。当事務所は、昨年80周年を迎え、本年新たな10年をスタートさせました。今回お届けします北九州港&空NEWSは、今回13号です。しばらく休刊中でしたが、私も新たに復刊することになりました。

新たな時代へ乗り出すヒントを得るべく、少し北九州港の歴史を紐解きつつ、その魅力を再発見したいと考えています。一つお付き合いです。



第45代所長 根木貴史

門司港への事務所移転

80周年を経て

イベント

門司海峡フェスタ

平成30年5月3日～4日、関門海峡におけるGW 2大イベント「第24回門司海峡フェスタ」が行われました。

イベントは多くの家族連れでにぎわいました。(公式発表約18万人)

「甲冑武者行列」に当事務所根木所長も参加し、門司港と関門海峡の文化・歴史の伝承に貢献しました。



門司港と関門海峡の今後の発展のために、イヤサカ〜

甲冑に身をまとう皆さん

門司みなと祭

平成30年5月26日～27日、「第75回門司みなと祭」が行われました。

今年は東京ディズニーランド開園35周年のスペシャルパレードも行われ、約7万人(主催者発表)から大歓声が上がる盛り上がりとなりました。当事務所はパネル展を実施。多くの方に来場頂きました。



事務所1Fパネル展



祝賀パレード

ニュース (NEWS)

建設業界の働き方改革への取り組み

平成30年4月24日(火)、北九州港湾・空港整備事務所発注の新門司沖土砂処分場(期)地盤改良工事(第3次)において実施されている働き方改革(休日確保)について、地元テレビ局RKB毎日放送の取材を受け、その模様が、ニュースに取り上げられました。

また、福岡県立八幡工業高校の生徒さん向けに現場見学会を行い、休日確保型工事の試行等、国交省の進める働き方改革についてアピールを行いました。



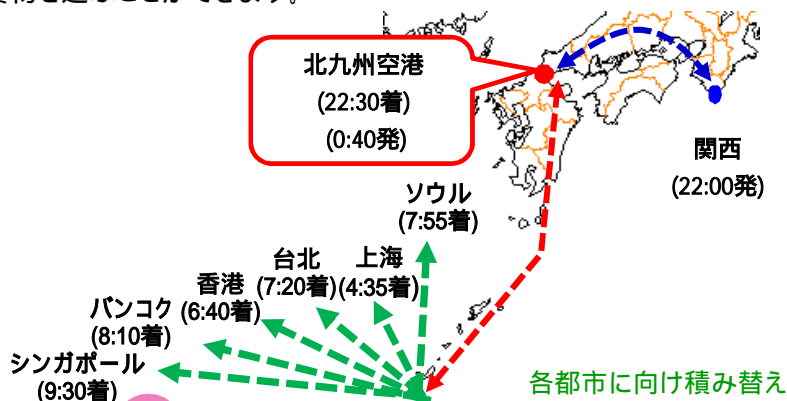
平成30年4月24日 現場見学会より

本工事では、土日祝日に必ず休日を取る取り組みを実施中

国際定期貨物便が就航

平成30年6月4日(月)、北九州空港で九州唯一の貨物専用定期便としてANA Cargo が就航する事となり、記念式典が開催されました。式典では初荷式があり、貨物機(B767-300F)に自動車部品や航空機のタイヤ、福岡県朝倉市の桃など貨物計21トンが積み込まれ、日付が変わった約1時間後、再び夜空へ飛び立ちました。

24時間離着陸できる北九州空港のメリットを活かし、週5便、九州を中心に広島以西の貨物について那覇空港を中継し、翌日の午前中にはアジア6都市へ貨物を運ぶことができます。



クルーズ船寄港予定

船名	入港岸壁	総乗客定数	総トン数(t)	平成30年度入港日						
				4/14	4/21	6/29	7/11	7/27		
シルバーディスカバラー	西海岸	128	5,218	4/14	4/21					
ロストラル	西海岸	264	10,944	5/16	6/4					
チャイニーズ・タイシャン	ひびき	927	24,427	5/23						
にっぽん丸	西海岸	524	22,472	6/11						
オペーション・オブ・ザ・シーズ	ひびき	4,905	168,666	6/27	8/3					
ノルウェージャン・ジョイ	ひびき	4,992	167,725	5/30	6/8	6/29	7/11	7/27		
コスタ・セレーナ	ひびき	3,780	114,147	4/25	7/6	8/8	10/5	11/2	11/30	12/28
グローリー・シー	西海岸	1,300	24,782	8/10	8/14	8/22				
コスタ・フォーチュナ	ひびき	3,470	102,669	6/1	8/17					
スーパースター・ヴァーゴ	ひびき	2,800	75,338	9/19						

凡 例 : 初寄港 入港済み 入港予定

統計

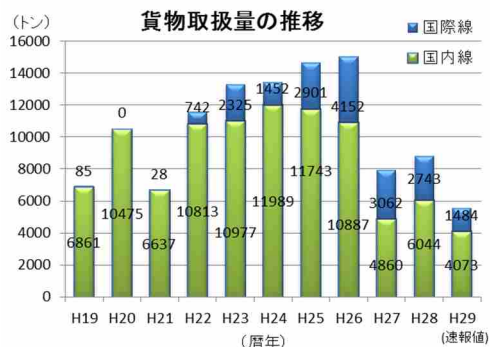
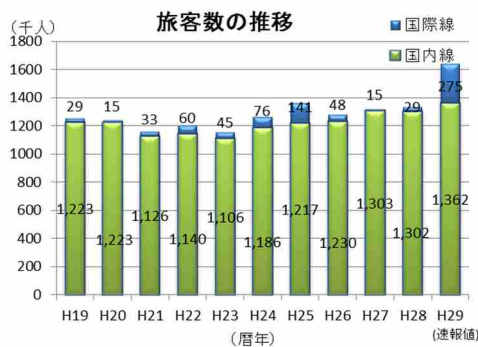
北九州港の取扱貨物量

平成29年の総取扱貨物量は、10,151万トンで、横ばいで推移。輸出は、金属製品や鋼材が多く、輸入は石炭や鉄鉱石などの原料が多くなっている。移出、移入はどちらも完成自動車が多い状況。



北九州空港の空港取扱貨物量

平成29年の乗降客数は、約160万人、貨物取扱量は約5,560トンと、貨物の取扱量は減っているものの、乗降客数は初めて160万人を越え、国際線の増加によって国際線旅客が約10倍に増加。平成30年10月には、北九州空港から桃園国際空港(台湾)とを結ぶ国際線の就航が予定されている。



九州地方整備局では、7月23日より、各施設を管理する事務所等でインフラカードを無料配布(全65種類)。配布施設等で希望すると1人1枚無料で入手できます。



国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-4-40

TEL(093)321-4631 FAX(093)321-5525

Webアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>

